TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　神の満ち溢れるもの

エフェソの信徒への手紙 3:14-21

2023 年 9 月 9 日&10 日
余沢 武　牧師

Ⅰ　はじめに

こんにちは。エフェソの信徒への手紙では、イエスを救い主と受け入れることにより、ユダヤ人も異邦人も、一つの新しい神の民となり、神の「ご性質」と「聖さ」を受けることを学びました。

パウロはこの秘儀を私たちに明らかにするために遣わされたことを学びました。今日は、パウロの祈りを学び、そこからどのように私たちの生活に適用できるかを見ていきましょう。まず、祈りましょう。

Ⅱ．　神の満ち溢れるもの

（1）　神の霊の力＆キリストが住まわれる

エフェソの信徒への手紙第 3 章 14-15 節を見てみましょう。「このようなわけで、私は、天と地にあって家族と呼ばれているあらゆるものの源である御父の前に、膝をかがめて祈ります。」

パウロは、「御父の前に、膝をかがめて祈ります。」と言っています。パウロは御父、すなわち神が「**天と地にあって家族と呼ばれているあらゆるものの源である**」と言っています。

昔の考えでは、誰かに名前を付けるというのはその人の存在を有らしめ、その人に権威と権力があることを意味していました。

公園で小さな女の子が石を集めて、お人形ごっこをして遊んでいると想像してみてください。大きな石に「あなたがお父さん、お母さんね。」と言い、小さな石には「あなたはピーター。あなたはメアリーよ。」と言い、変わった形の石には、「あなたは悪い子のユダよ。」と言います。

石の家族メンバーは女の子の物で、その子が石の家族が存在するようにしました。その子は、石の家族に対して権威と権力を持っていて、自分の思い通りにすることができます。悪い子のユダを持ち上げて、「もうあなたはいらない」と言って、捨てることもできます。同じように、神はすべてを所有しておられます。

パウロは、「このようなわけで、私は、天と地にあって家族と呼ばれているあらゆるものの源である御父の前に、膝をかがめて祈ります」と言っています。御父とは、天と地にある全ての家族の名付け親である神であり、天の天使たち、悪魔たち、そして地上の全ての家族を支配する力と権威を持つ神です。

パウロは、この偉大なる、父なる神に祈るのですと言っています。

16 節から 17 節（前半）です。「[16] どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように。[17] あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださいますように。あなたがたが愛に根ざし、愛に基づく者となることによって」

パウロの祈りは、私たちが神の聖霊を通して力を受けることです。「神の豊かな栄光、神のご性質、神の聖さに従い」とありますが、神の栄光はどれほど豊かなのでしょう？

無限にです！ローマの信徒への手紙第 11 章 36 節では、「すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン。」と書かれています。神は全ての栄光の源なのです。

何年も前のことですが、私がアメリカのコネチカット州で大学院生だった頃、日本の食材はとても手に入れにくいものでした。地元のスーパーマーケットで豆腐は手に入りましたが、そのくらいしかありませんでした。

日本食材が欲しかったら、2 時間かけてニュージャージー州にある日本のスーパー、ヤオハンまで行かなければなりませんでした。ヤオハンは素晴らしかったです。中に入ると、完全に日本のような雰囲気でした。

日本のスーパーのように、ラーメン、餃子、たこ焼きを食べる場所も中にありました。刺身、納豆、しゃぶしゃぶ用の薄切り肉、日本の桃など、日本のスーパーにあるものは何でもそろっていました。

もしこの場所で、何でもタダで持って行っていいと言われたら、どんなに素晴らしいか想像してみてください！毎日にように本物の日本食材をなんでも手に入れることができます。

これがパウロの祈りです。パウロは日本食が欲しかったわけではありません。彼は神の栄光、すなわち、神のご性質と聖さのために必要な全ての力を求めました。だから私たちは毎日、全ての力を持つお方から、尽きることのない力を受取ることができるのです。

なぜでしょうか？なぜなら、そうすることで「あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださる」からです。これが聖霊の力が私たちに与えるものです。キリストが信仰によって私たちの心に住むようになるのです。

全てのクリスチャンには聖霊を通してイエスが住まわれておられますが、パウロはそれ以上のことを求めて祈っています。つまり、イエスが私たちの内に住まわれ、人生をコントロールするようになることを祈っているのです。

神が 40 年間、荒野でイスラエルの民の間に住まわれた時、モーセは絶えず神の助けを求め、神の言葉にいつも従い、すべてを神に信頼しました。そして神の栄光を目の当たりにしました。

イエスが地上でのミニストリーにおいて、弟子たちの間に住まわれたとき、弟子たちは絶えずイエスの助けを求め、全てにおいてイエスに従いました。

嵐になった時、弟子たちはイエスに助けを求めました。誰かが病気になった時、弟子たちはイエスに助けを求めました。お腹が空いた時、弟子たちはイエスに助けを求めました。弟子たちは、イエスの言葉に常に従い、イエスを信頼しました。そして、弟子たちは神が自分たちを通して働かれているのを見たのです。栄光が次から次へと続いていくのを目撃しました。

聖霊の力を求めて祈っていると、信仰によって私たちはイエスが私たちの中に住んでいるように生きていくことができます。人生の嵐が来た時、私たちはイエスに助けを求めます。誰かが病気になった時、イエスに助けを求めます。お腹が空いた人がいる時、私たちはイエスに助けを求めるようになるでしょう。

聖霊は、私たちに神の助けを求めるための力を与え、神の言葉に従い信頼する力を与えてくれます。その結果、私たちもまた、神が私たちを通して働かれているのを目撃することになるでしょう―栄光から栄光へと続いていくことを。

ですから再び言いますが、私たちの毎日のクワイエットタイムがとても重要なのです。クワイエットタイムを通して、私たちは聖霊の力を求め、イエスのご臨在を体験し、助けを求め、神の言葉に従い信頼し、神の働きの目撃者となり、神によって変えられ、その栄光とご性質を受け取ることになるのです。

(2)神の満ち溢れるものすべてに向かって満たされる

しかし、それだけではありません。17 節(後半)から 19 節を見てみましょう。

「[17] あなたがたが愛に根ざし、愛に基づく者となることによって、[18] すべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどのものかを悟り、[19] 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができ、神の満ち溢れるものすべてに向かって満たされますように。」

イエスに従がおうとすればするほど、自分がいかに罪深いことに気づくようになるでしょう。

私は、今まで何年もかけて、本当の成熟したクリスチャンとは、他の人の罪に気づく人ではなく、自分自身の罪に圧倒されている人であることに気づきました。

だからパウロはクリスチャンとして成熟するにつれて、自身の自己評価が低くなっていきました。

紀元 55 年頃に書かれたコリントの使徒への手紙第一では、「使徒たちの中では最も小さな者であり」(コリントの信徒への手紙一　第 15 章 09 節 a)

紀元 60 年頃に書かれたエフェソの信徒への手紙では、「すべての聖なる者のうちで最も小さな者である」(エフェソの信徒への手紙第 3 章 8 節)

紀元 63 年から 65 年頃に書かれたテモテへの手紙第一では「私は、その罪人の頭です」(テモテへの手紙一第 1 章 15 節)と書いています。
「私はかつてそうだった」とは言っておらず、「私は、その罪人の頭です」と言っていることに注意してください。イエスとともに歩んで 25 年後経ってからです。

だから、誰かが「武先生、私はまだ罪深いです。成熟したいです。」と言ってくると、私はいつも「そう言い続けて欲しい。」と伝えます。そのように言わなくなることは、私たちが成熟したのではなく、罪に鈍感になってきたということです。

イエスと住まい、絶えず神に従おうとするとき、私たちは自分がいかに罪深いか気づくようになります。「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さ」を理解するようになります。

神の愛とは宇宙のようなものです。宇宙の広大さを理解することはできません。でも望遠鏡で見ると、無限の星があることに、畏敬の念を覚えるでしょう。

それと同じく、神の愛の広大さを理解することはできません。しかし、私たちが自分の罪について顧み始めると、もっとたくさんの罪が見えるようになります。数えきれない罪の多さに驚くことになります。

そしてイエスの血がそれらすべての罪をぬぐい去って、聖霊が罪を神のご性質に置き換えていきます。

私たち罪の宇宙は、神のご性質、神のご栄光の宇宙にすべて置き換えられます。そして私たちは謙虚になります。そのとき、「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さ」がわかるようになります。

私たちがへりくだり、イエスと共に住み、聖霊の力によるとき、私たちは、「神の満ち溢れるもの」で満たされるようになります。

これは水風船が水でいっぱいなように、神の満ち溢れるものでいっぱいに満たされるのです。誰かが針を刺す時、誰かが攻撃する時、批判する時、または誰かが助けが必要な時、誰かが傷ついた時、何か難しい問題があった時、風船が割れる時に出てくるのは、神の満ち溢れるものです。出てくるのは神のご性質であり、神の聖さであり、神の愛だけです。これがパウロの私たち、そして教会への祈りです。

(3)神に栄光がありますように

「[20]私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、[21]教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように、アーメン。」

この祈りを学ぶと、クリスチャンの人生は神のご栄光のため、神のご性質のためです。それはつまり神の満ち溢れるものです。しかしそこへ到達するには、ただ、祈りを通した神の力しか方法がないことに気づいてください。

もしアメリカに行くなら、飛行機に乗るか、船に乗る必要があります。空港や港で歩き回っているだけでは、どれだけ長くそこにいたとしてもアメリカには着きません。もちろん空港や港に行く必要はありますが、アメリカに到達するには、飛行機や船に乗らなくてはいけません。

クリスチャンの成長も同じことです。聖書や他のクリスチャンと一緒にいるだけでは、どれだけ長くそうしたとしても成長はしません。もちろん聖書も他のクリスチャンも必要ですが、やはり神の力を求めて真摯に祈らないかぎり、本当の成長はできません。

パウロは、彼の祈りを通して教えてくれます。私たちの人生は神の力を求めて祈ることであること、そうすれば、私たちはイエスと共に住み、神の愛によって謙虚になり、神の満ち溢れるものすべてに向かって成長することができるということを。

4章と5章では、パウロはどのように生きるべきかを教え、6章では悪魔の力と戦う方法を教えています。しかし祈りがなければ、私たちはどの方法も実践することができません。そのため、パウロは、私たちに対するこの祈りを通じて、まず祈り方を教えてくれたのです。

TBCの皆さん、祈りとクワイエットタイムを熱心に行いましょう。なぜなら、祈りこそが私たちの人生をクリスチャンの人生とするからです。

クリスチャンではない方も、イエスがあなたに与えているものは、赦し、力、愛、神の満ち溢れです。今日イエスを信じてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3723jp

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 30 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了し教会員になった方

★クラス 301
あなたの賜物を発見しよう！
10 月 14 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101・201 を修了した教会員
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方